

第5分科会 提言から学んだこと、提言者に伝えたいこと

不登校対策として専門家とタイムリーにつながる大切さを知った。本市でも取り組み出していることであるため、教頭という立場で推進したい。

明確な視点で、グループ討議を充実したものになった。

具体的な内容であり自校で取り入れることができる提言であり大変有り難かった。

美濃市さんの実践がとても素晴らしい。プレゼンデータ資料が手元に欲しかったです。

市をあげて取り組んでいっしょにやることが、素晴らしいと思いました

不登校対応が参考になった。

職員研修について真似したいと思いました。

特に不登校対策、ぜひ参考にしたいです。

「全ての教職員共有する」というキーワードが大切だと感じた。研修や職員会、打ち合わせなどで共通認識を持って学校運営にあたる事を意識してきたつもりではあるが、こちらからの一方的な押し付けになっているのではないかと反省した。やはり先生方の考えを引き出しつつ、同じベクトルで運営していくようにしていきたいと学ぶことができた。

市全体で同じ方向で取り組むことは、職員の研修にもつながると思いました。教頭として、リーダーでありコーディネーターでありたいと感じました。また、本校でも当たり前を見直していきたいと思いました。

自分でなんとかする力、多様な力量を求められる職員...教頭としてできることは、コーディネーターとリーダー、どちらも大切と学びました。

お疲れ様でした。研修については、多忙の中まあいいかなと思ってしまう時もありますが、やはり教育者としての研鑽を積んでいかなければならないなと思いました。

日頃考えていることを整理し、1つの考えを頂けたように思います。底力、壁をこじ開ける。目の前の子どもたちもそんな子どもに育てられるよう、コーディネート、リーダー的な役割で考え動けるよう努めたいと思いました。

校内研修の大切さは感じていたので、大変参考になった。

自分で何とかする力をテーマに、自分自身のことと繋げて提言を聞くことができました。

研修主事を核として研修を位置付けていくことは、本校でも意識していることなので、今後も続けていきたいです。

市で共通して取り組んでみえることが素晴らしい。

「磨学」というキーワードが印象的でした。みんなで積極的に研修しようと思える素敵な言葉だと思います。

これまで学校がやりすぎていたことで子どもたちが力を身につけるチャンスを奪っていたように思います。「自分でやらせてみる」機会を奪わない職員集団にしていきたいと感じました。

市全体で取り組まれていることが、より良い方向になっていると思いました。学校をつくっている実感をもっていることが大切だと感じました。

美濃市の焦点的な取組を自校や市で取り組みたいと夢が広がった。

美濃市の研究はとても整理されており参考になりました。職員研修はすぐにでも取り入れることができる内容でしたので、早速実践させていただきます。ありがとうございました。

提言、ありがとうございました。関市も不登校の問題は深刻で、医療とつなげられるよう工夫していきたいと感じました。

よく分かる提言でした。教頭として、校務分掌にそった連携やコーディネートの大切さ、他の学校との連携の主になることの大切さを再確認しました

学校の当たり前を見直そうと思いました。子どもたちが考えるまで運動会を開かないってすごいです。私の学校も体育大会を子どもに考えさせていますが、まだまだ不十分だと思いました。ありがとうございました。

市全体で、研修や、検証会を行っているところを取り入れていきたいと思いました。

具体的な提案で、たくさんのヒントをいただきました。ありがとうございました。

学校の当たり前を見つめ直し、子どもや職員と共に変えていくこと。何のために？目的意識が大切。

不登校対策について学ばせていただきました。これでの当たり前ができなくて、苦しい思いをしている子どもたちがいるのではないかと考えさせられました。何のためにやるのか、学校でも考えていきたいです。

まずは参集型で行っていただきありがとうございました。オンラインでは触れられない熱意、距離感、表情などを感じ取ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

自分で何とかする力というキーワードがわかりやすく、グループ合流もしやすかったです。よい提案をありがとうございました。

発表者でした

